

千曲・坂城地域 自立支援協議会だより

むつき号

<令和6年1月発行>

編集・発行 千曲・坂城地域自立支援協議会

事務局 千曲・坂城障がい者（児）基幹相談支援センター

住所 千曲市戸倉2388番地 千曲市ふれあい福祉センター 2階

TEL : 026-275-0548 FAX : 026-214-3013

E-mail : cs-soudan@bh.wakwak.com URL : <http://cs-soudan.pupu.jp/>

新年 あけまして おめでとうございます！

2024年は、大空を悠々と駆ける龍の年、成長の年とも言われます。

自立支援協議会も活気あふれる飛躍の年にしていきたいと思います！

自立支援協議会 全体会が開催されました

11月22日（水）信州の幸（めぐみ）あんずホールで自立支援協議会全体会が開催され、第1部は長野市保健所長 小林 良清氏の講演、第2部は当事者や当事者家族、地域の支援者で「笑顔で暮らし続ける地域づくり」をテーマにトークセッションが行われました。

当日は、福祉事業所による販売会も行われ、100名を超える方にご来場いただいて大変盛り上がりしました。

今年度の全体会には、新たな試みへのチャレンジがありました。

- 第1部と第2部の間の休憩時間に、会場内スクリーンを使って生活部会で制作した『福祉の仕事の魅力発信動画※』を上映しました。

福祉の現場で輝いている皆さんの姿や声を通して、福祉の仕事の魅力が来場された方に届けられました。また、福祉の仕事に従事されている方には、忙しさに追われている日々の中に福祉の仕事だからこそ得られる喜びがあることを再認識していただける機会になっていたら嬉しく思います。

令和6年度 千曲・坂城地域自立支援協議会 全体会
だれもが暮らしやすい やさしい町を目指して
～アフターコロナ 笑顔が戻る地域づくり～
日時 2023年11月22日(水) 13:30~16:00(開場13:00)
場所 信州の幸(めぐみ) あんずホール
入場無料 申込み方法 裏面の「参加申込書」に必要事項を記入の上 FAX または メールにて申込みください
定員100名
第1部 講演会 13:30~14:15
『コロナ禍に何が起っていたか 今後のおつきあい』
講師 小林 良清氏 (長野市保健所長)
講師のご紹介: 社会医学専攻准教授・専門医 日本医師会認定産業医 信州中央総合病院産業医・環境保健課長兼産業医 平成19年より長野県医師会 医文化顧問兼、長野県医師会副会長等歴任。現在、信州中央総合病院産業医・環境保健課長として、産業医としての活動に情熱を注いでいます。
第2部 トークセッション 14:30~15:45
アフターコロナの今 笑顔で暮らし続ける地域づくりについて考える 『わたしたちの声を届けたい』 当事者、家族、支援関係者、支援者の声に 当事者の皆さまも ぜひトークにご参加ください
販売会 ※13:00~13:30 事務局の出展ブース ※14:15~14:30 お買い物をお楽しみください
抽選会 ※15:00~15:30 発表は第2部に！ ※抽選券を必ずお持ちください
【問い合わせ】千曲・坂城地域自立支援協議会事務局 千曲・坂城障がい者(児)基幹相談支援センター TEL:026-275-0548 / FAX:026-214-3013 Mail:cs-soudan@bh.wakwak.com

※ 福祉の仕事の魅力発信動画 … 「福祉人材の不足」という地域課題に対する取り組みとして生活部会で制作しました 《 かなづき号で紹介しています 》



- 全体会にご参加された方を対象に抽選会を実施しました。販売会に出店された事業所にご協力をいただいて、20個の素敵な景品が揃いました。

当日は受付を済まされた方に抽選券をひいていただきました。ワクワクした表情で抽選箱に手を入れる様子にホッコリ♪

当選番号の発表は第2部の開始時に行われ、全体会が終了後に当選者に商品が渡されました。

第1部 長野市保健所長 小林良清氏 講演

『保健所の現場から 新型コロナウイルス感染症との付き合い方を考える』

コロナ禍では、テレビでお顔を見ない日は無かったのではないのでしょうか。新型コロナウイルス感染症の対応で先頭にたって指揮をされていた長野市保健所長小林良清氏をお招きして、コロナ禍で何が起こっていたのか、そして今後の対応についてご講演いただきました。

第1波から今日に至るまでの感染者数の推移や長野市保健所の取り組み、感染者などへの誹謗中傷などの話題にも触れ、具体的にわかりやすくお話いただきました。

これから新型コロナとどのように付き合いしていくか、新型コロナへの考え方を変えること、個人ができることをしっかり行うこと、そして今回の経験を新しい感染症に活かすことが大切だというお話をお聞きしました。



《参加者の感想》… アンケートより抜粋

- ・ コロナ禍で知らなかった保健所の働き・動きが知れて良かったです、今後の付き合い方も知ることが出来ました。
- ・ 福祉の現場の警戒心を減らすのは難しいですが、状況に合った変化は必要だと感じました。
- ・ 保健所のご苦労がよくわかりました。今後、このような事が発生した場合に備える準備が必要だと思いました。
- ・ これからのコロナとの向き合い方を考えさせられました。自分にできることを続けていこうと思います。

第2部 トークセッション

～誰もが安心して暮らせる地域について、地域みんなで考える～

第2部は、コロナ禍での経験を踏まえて「誰もが安心して暮らせる地域について地域みんなで考える」というテーマで千曲・坂城地域の様々な立場の方にご登壇いただきトークセッションを行いました。

新型コロナの感染拡大で外出や人と会うことを制限され、社会の仕組みが一変するなか、何が起きているのかわからずに当事者、家族、支援者…みんなが大きな不安の中で恐怖を感じながら過ごしていたことがわかりました。

新型コロナに対する不安は、情報や知識を得て少しずつ理解することで軽減されてきたという話から、「障がい」でも共通する部分があるのではないかという意見が出されました。

そのほか、会って話すことができない中、繋がりのある人同士では、電話やメールなどを使って情報交換をすることで安心できたという話や、リモートやWeb会議など対面でなくても済む便利な仕組みが確立されたけれど「やっぱり人に会いたい」という意見が出され、改めて人と人の繋がり、地域の絆の大切さを実感する機会となりました。



＝ トークセッション メンバー（左から）＝

- 中村 美恵子氏：基幹相談支援センター
- 北島 直也氏：当事者・ひこばえの会
- 宮澤 裕子氏：訪問看護ステーション はる風
- 中澤 範子氏【進行】：基幹相談支援センター
- 小林 良清氏【助言】：長野市保健所長
- 佐藤 幸子氏：千曲市手をつなぐ育成会
- 吉澤 正照氏：坂城町民生児童委員
- 安藤 正幸氏：自立支援協議会長

販売会

《出店事業所》※五十音順

いなりやま共同作業所・クロスロード（寂蒔/上山田）・しょう×ちくま・スタジオCoCo
チューリップの家・ともいきライフ月影・ボスケット・まごころクロレ・満天の星

9事業所が出店され、開演前と休憩時間に販売会が行われました。短い時間で販売でしたが、大勢の来客に大賑わいでした。来場された方から、「素敵なお品に出会えました」「普段買いにいけなかったものがあって嬉しくて沢山買ってしまいました」などの声がありました。

また、今回は出店事業所のご協力をいただき事業所の紹介や活動されている様子の写真を提供していただき、開演前の会場スクリーンで紹介させていただきました。アンケートでは、「皆さん笑顔で楽しそうでした」「楽しくお仕事をされている様子に関心しました」「通所している事業所の頑張りが作った製品を売ることができて嬉しかった」などの声が寄せられました。

小林所長もお買物を
楽しめました♪



～さん・さんネット部会～

『さんきゅーあーと展』準備会が開催されました！



12月21日に「さんきゅーあーと展」準備会が開催されました。さん・さんネット部会員のほか、協議会を通じて準備会の情報を知り参加された方と一緒に共同作品および参加記念品の準備を行いました。

共同作品の準備は、参加事業所から集められたメッセージカードを台紙の絵柄に合わせて、1枚また1枚と貼り、みんなの思いを共同作品にのせて作品作りを行いました。

【さんきゅーあーと展 開催日程】

期間①： <会場：戸倉創造館>

令和6年1月16日（火）午後1時から1月24日（水）まで

期間②： <会場：千曲市役所1階 ガレリア>

令和6年2月1日（木）午後1時から2月15日（木）まで



作品を出展された方に記念品をお渡しすることになりました♪
記念品の「色えんぴつ」… 作品作りに使ってもらえたら嬉しいな！



記念品の準備をするグループは和やかな雰囲気で作業を進めました。聞こえてくる声に耳を傾けると「お正月のお雑煮の具はなに？」などホッコリする話題で盛り上がっていました。

商品に「さんきゅーあーと展」のシールを貼り袋に入れる細かな作業でしたが、楽しい会話に笑い声も交えながら、和気あいあいと作業を進め、用意した記念品の準備が終了しました。

BCP(業務継続計画)策定の勉強会を開催！



自立支援協議会では令和5年8月に、千曲・坂城地域の障害福祉関連事業所を対象に事業継続計画（BCP）の策定状況の調査を行いました。

27法人を対象にアンケートを実施し、12法人から回答がありましたが、策定済みの法人は2割にとどまり、8割の事業所は「策定中」であったり「これから策定」という状況でした。

「どのように作ったら良いのかわからない」「研修会を開催してほしい」などの意見が多かったため、『長野県BCP策定支援プロジェクト』に相談し、今回の勉強会を開催することになりました。

今回の勉強会では、長野県と策定支援に関する協定を締結している東京海上日動火災保険株式会社に講師を務めていただき、前半は「BCPが必要な理由」などの講義と、大型地震を想定した机上模擬訓練を行い、後半は通所系・入所系・訪問系のグループに分かれて「簡単・早わかりBCP策定インプットシート」を使用してBCPの簡易版の作成を行いました。限られた時間での研修だったためBCP（簡易版）の作成まで

は到達しませんでした。参加者からは「作成の考え方がわかりました」などの声が寄せられました。

障害福祉サービスは、利用者、家族などの生活を支える上で欠かせないものです。自然災害や感染症のまん延などが起こっても適切な対応を行い、必要なサービスを継続的に提供できる体制を構築することが必要です。

BCPの作成をゴールとするのではなく、作成過程の検討や運用後の見直しを大切にしていきたいですね。



♪ みんなに届け わたしたちの「声」・「想い」♪

12月21日に開催された さん・さんネット部会「さんきゅーあーと展」の準備会にお邪魔しました。参加者に準備会に参加した感想や「さんきゅーあーと展」にかける想いを伺いました。

《 ミキさん 》

記念品のシールを貼りました。
きちんと出来ました。
頑張りました！
とても楽しかったです。



《 マサヨさん 》

楽しかったです。
カードにノリをつけたり
頑張りました。

《 ミナさん 》

共同作品のカードをやりました。
あんずのカードをきれいに貼れました。
バラの花が本当にきれいで嬉しいです。

《 小瀧さん 》

年々出品数が増えていると
お聞きして心強いです。
つながる場所として定着して、
更に大勢の人に参加してもらえると
良いですね。



《 参加者で記念写真 》

～ 瀬尾部会長さんにお聞きしました ～

コロナ禍で「さんきゅーあーと展」が始まり、
今回が第3回！ 少しずつステップアップしています。
今年は共同作品の制作を、当事者の皆さんと一緒に
進めることができました。

和やかな雰囲気で作品作りができて良かったです。
1月の本番が楽しみです♪

今年度の共同作品のテーマは「**やさしさあふれる大切な未来（あした）**」

準備会の会場、共同作品の中に、沢山の「やさしさ」を感じることができました！

1月から始まる「さんきゅーあーと展」、ご来場をお待ちしています♪

BCP（業務継続計画）とは…

豆知識

BCP = **B**usiness **C**ontinuity **P**lan

障害者施設や事業所において、災害や感染症の発生時でも利用者へのサービスを安定的に提供するための計画です。

令和3年度の障害福祉サービス等報酬改定において、全ての障害福祉サービス等事業者を対象に、事業継続計画（BCP）の策定が義務づけられました。3年の経過措置が終わる今年度末までに策定を完了しなければなりません。

《 編集後記 》

あけまして おめでとうございます

本年も皆様のお力をお借りしながら、協議会運営をスムーズに行えるよう精進して参ります。引き続きよろしくお願いたします。

今年度も残り3カ月となります。これから各部会では1年間の振り返りや次年度に向けた計画の検討で忙しくなります。年度末に向けてお忙しい中だとは思いますが、皆様のご協力をお願いいたします。